



各位

2026 年 9 月 29 日
株式会社 bitFlyer

ترون (TRX)、GRAM (GRAM)、コスモス (ATOM)、
XDC ネットワーク (XDC) 取扱い開始のお知らせ

株式会社 bitFlyer (本社：東京都港区、代表取締役：加納 裕三、以下「当社」) は、本日から販売所でترون (以下「TRX」)、GRAM (以下「GRAM」)、コスモス (以下「ATOM」)、XDC ネットワーク (以下「XDC」) の取扱いを開始いたしました。また、4 銘柄の取扱い開始を記念し、対象銘柄をご購入いただいたお客様を対象としたプレゼントキャンペーンも実施いたします。

当社は今後も暗号資産の取扱いを積極的に拡大することで、お客様に多様な投資の選択肢を提供してまいります。



■ 取扱い開始日時

売買：9 月 29 日 (火) 15 時 30 分頃

bitFlyer かんたん積立の初回積立日：9 月 30 日 (水)

■ TRX の概要

通貨名：ترون

ティッカーシンボル：TRX

特徴：TRX は、2017 年に設立された分散型ブロックチェーンプラットフォームです。DApps（分散型アプリケーション）の開発やデジタルコンテンツ配信に特化した設計が特徴で、委任型プルーフ・オブ・ステーク（DPoS）コンセンサスアルゴリズムの採用により、高速処理と低コストな取引手数料を実現しています。

出典：<https://trondao.org>

■ GRAM の概要

通貨名：グラム

ティッカーシンボル：GRAM

特徴：GRAM は、メッセージングアプリ Telegram の創業者らが開発したブロックチェーンプラットフォーム「The Open Network（TON）」のネイティブトークンです。プルーフ・オブ・ステーク（PoS）と動的シャーディング技術を採用し、高速なトランザクション処理と低コストな取引手数料を提供しています。

出典：<https://ton.org/>

■ ATOM の概要

通貨名：コスモス

ティッカーシンボル：ATOM

特徴：ATOM は、異なるブロックチェーン同士の相互運用性の実現を目指す「Internet of Blockchains」をコンセプトに掲げたブロックチェーンプラットフォームです。独自の通信規格 IBC（Inter-Blockchain Communication）により、異なるブロックチェーン間でのトークンやデータの直接転送を可能にしています。ATOM はコスモスハブ上で利用される基軸トークンとして、取引手数料の支払いやステーキング、ガバナンスへの参加に使用されています。

出典：<https://cosmos.network>

■ XDC の概要

通貨名：XDC ネットワーク

ティッカーシンボル：XDC

特徴：XDC は、貿易金融や国際送金など企業間取引（B2B）に特化した分散型ブロックチェーンプラットフォームです。委任型プルーフ・オブ・ステーク（DPoS）を採用し、高速処理と低コストな取引手数料を実現しています。ISO20022 に準拠した設計が特徴で、既存の金融インフラとの親和性が高く、機関投資家や金融機関への導入が進んでいます。

出典：<https://www.xinfin.org>

■ 取扱い開始記念キャンペーン

4 銘柄の取扱い開始を記念し、本日よりキャンペーン（以下「本キャンペーン」）を実施いたします。



本キャンペーン期間中に当社販売所で、TRX、GRAM、ATOM、XDC のいずれかまたは複数の銘柄を合計 1 万円以上ご購入いただいたお客様の中から抽選で、最大 10 名様に 1 万円相当の TRX、GRAM、ATOM、XDC のいずれかの銘柄をプレゼントいたします。

キャンペーン期間

2026 年 9 月 29 日（火）～ 2026 年 10 月 29 日（木）

詳しくはキャンペーンページをご確認ください。

<https://bitflyer.com/ja-jp/cam/26q3-trade-cpn-3>

4 銘柄に関する詳しい情報は「取扱暗号資産概要説明書」をご確認ください。

<https://bitflyer.com/pub/explanatory-summary-of-our-handled-virtual-currency.pdf>

bitFlyer グループについて

bitFlyer グループは、「ブロックチェーンで世界を簡単に。」をミッションに、2014 年に日本で事業を開始しました。国内でビットコイン取引量 10 年連続 No.1* を達成するなど、暗号資産取引量において国内有数の実績を有しており、現在は日本、米国、欧州を拠点に、グローバルに事業を展開しています。

株式会社 bitFlyer Holdings は、グループ全体の経営戦略およびガバナンスを統括し、安全性と信頼性を最優先に、健全な市場の発展と新しい金融インフラの創造を目指しています。

中核事業である暗号資産交換業では、誰もが安心して簡単に暗号資産を売買できる取引所「bitFlyer」を提供しています。初心者にも使いやすいサービスに加え、プロフェッショナルなトレーダー向けの高機能取引ツールも展開し、多様なニーズに対応しています。

また、株式会社 bitFlyer Blockchain では、独自に開発した高性能ブロックチェーン「Miyabi」を基盤に、金融・産業領域における多様なユースケースを支える技術開発を進めています。さらに、株式会社 Custodiem では、機関投資家や事業者向けに、これまで培ってきた暗号資産交換業の運営ノウハウと高度なセキュリティ技術を活かしたクリプト・カストディ事業の展開に向けた取り組みを進めています。

bitFlyer グループは、今後もグループ各社の強みを活かし、安全性と信頼性を重視した健全な市場形成と、新たな金融インフラの創出に取り組んでまいります。

公式ウェブサイト：<https://bitflyer.com>

* JVCEA および各社公表データを基に当社調べ（差金決済および先物取引を含む年間出来高、2016–2025 年）

【注意事項（よくお読みください）】

- 暗号資産は法定通貨ではなく、代価の弁済を受ける者の同意がある場合に限り、代価の弁済のために使用できません
- 暗号資産は、需給バランスの変化等により価格が変動し損失が生じるおそれがあります
- 暗号資産等取引にあたり手数料等が発生することがあります。手数料等の詳細については、[こちらのページ](#)をご確認ください
- 暗号資産関連店頭デリバティブ取引を行うにあたっては、証拠金を預託いただく必要があります。必要となる証拠金額や計算方法、証拠金率その他証拠金の詳細は、[こちらのページ](#)をご確認ください
- 暗号資産関連店頭デリバティブ取引は、少額の資金で証拠金を上回る取引を行うことができる一方、暗号資産の急激な価格変動等により、短期間で預入証拠金の額を上回る損失が発生することがあります
- 暗号資産関連店頭デリバティブ取引では、価格の急変やロスカットの執行等により、お客様が注文時に想定した価格その他の取引条件と異なる内容で取引が成立し、又は取引が成立しない場合があります
- お取引の前に、当社の契約締結前交付書面等を必ず十分にご確認ください

株式会社 bitFlyer

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3294 号

暗号資産交換業者 関東財務局長 第 00003 号／（一社）日本暗号資産等取引業協会所属

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 bitFlyer 広報

〒107-6230 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

サービスサイト：<https://bitflyer.com> お問い合わせ先：<https://bitflyer.com/ja-jp/contact>